

日蓮大聖人御報恩会式が行われました！！

10月29日、圓久寺の本堂において、日蓮大聖人に感謝の気持ちを伝える法要に際し、唱題行が行われました。

日蓮大聖人は「私達が一生懸命に御題目をお唱えすることが、お釈迦さまが一番喜ばれる」ということを示してくださっています。

呼吸を整え、太鼓のリズムに合わせて御題目をお唱えした功德は素晴らしいものがあります。

ご参集、誠にご苦労様でございました。

合掌



皆さんの気持ちがこもった御題目が境内に響き渡りました。ありがとうございました。

お焚き上げのご案内

お寺や神社をお参りし頂いた御札は一年おきに交換するものです。古くなった御札は、今までお守り頂いたことを感謝して頂戴した寺社にお納め（返却）し、お焚き上げ（処分）をして頂くことが大事です。

しかしご遠方ということもあり、なかなかお参り出来ないこともあるかと存じます。圓久寺では12月31日午前10時より法要を営み、古くなった御札を火にくべてお焚き上げを行います。

お寺や神社の御札・古くなった仏具の処分等を承ります。

尚、お守り等でも「亡くなったおばあちゃんが、お孫さんの受験合格の為に購入した学業守り」等、故人との思い出が深いものは大事にとっておいても良いのではないのでしょうか。

お焚き上げを希望される方は、お早めにお寺までご連絡ください。

（お焚き上げ受付締め切り：12月8日）

事前にお寺へお焚き上げの品をお持ち頂く際は、不在の場合もありますので、必ずお電話で日時をお教え下さい。宜しくお願い致します。

お寺参りのご案内

◎平成18年11月26日(日)

午後2時より

月例信行会

◎平成18年12月6～8日

午前8時半より（3日間）

接心修行(唱題行)

◎平成18年12月31日(日)

午前10時より

お焚き上げ法要

お寺からのお話 ～億万長者の悲劇～

合掌 自分にとって「大切なもの」について考えさせられる物語がありました。資産500億円を持つ人がいました。そのうち200億円を投資しましたが、残念ながら失敗に終わり、投資の総てを失ってしまったそうです。それでも300億円の資産は残りました。

さて、彼は次に何をしたでしょう？ 残った資産で余生を過ごすことも出来ます。それとも失った200億円を取り戻す為に、また挑戦することも出来ます。それだけのお金があれば一生何の不自由も無く暮らしていけますよね。（私には、ただ溜め息がでる、夢のようなことに感じます・・・。）

彼が選んだ道はそのどちらでもありませんでした。自ら命を絶ってしまったのです。300億円が残ったことよりも、200億円を失ったことの方が、彼にとって許されないことだったのです。「300億円が未だ自分の手許にある。何てありがたいことなのだろう。」と考えることが出来なかった彼は、お金がどれだけあっても幸福になれなかったのです。お金という存在によって、彼は不幸になりました。

さて、自分の「幸福」とは？ 何が、どの位あれば幸福だと思えるのでしょうか？ 『法華経』では「少欲知足」（欲少なくして足ることを知る）と説かれています。欲望を絶つのではないのです。目標・夢があるからこそ、はげみある生活ができます。

私は出来るだけ家族の希望を優先するように心掛けています。自分だけでなく周りの人も一緒に喜ぶことが、私の「幸福」です。先日長男と買い物に出かけました。私はお気に入りのCDを購入しました。長男は「仮面ライダーの人形が欲しい！！」と熱いまなざしで私に訴えます。「自分だけ買うわけにはいかないなあ。お互い様だね。」かくして、二人は幸せな気分でお家に帰りました。

喜びは、分け合おうと何倍もうれしくなります。

吉田俊栄 再拝

追伸 年末に古いお札等のお焚き上げをします。持参できない方は郵送でも受け付けます。来年2月の節分星祭には祈願札・お守りをお分けします。次回一月発送予定のお便りにて詳しくご案内します。